

アジア・オセアニア 豆 知 識



投資マネーの流入に勢い！アジアのベンチャー企業の台頭

足元、アジアのベンチャー企業への投資額は、経済大国である米国を上回るまで拡大してきています。その投資対象となったのは、配車アプリをはじめとするアジアのユニークな企業です。今後のビジネス拡大と経済成長に期待が高まっています。

アジアのベンチャー企業への投資額は米国超え！

2017年4～6月期の世界の資金調達額上位5社		
	社名(国名)	事業内容
1	ディディチューション 滴滴出行(中国)	配車アプリ
2	ワン97コミュニケーションズ(インド)	モバイル決済
3	ゴジェック(インドネシア)	配車アプリ
4	バイトダンス・テクノロジー 北京字節跳動科技(中国)	ニュースアプリ
5	エレミー 餓了麼(中国)	出前アプリ

米調査会社によると、2017年4～6月期の日本を含む**アジアのベンチャー企業への投資額は約193億米ドル(約2.1兆円*)**と、**米国の約184億米ドルを初めて上回りました。**

中国を筆頭に、インドやインドネシアといったアジア企業に大型投資が相次いだためです。

世界の資金調達額上位5社のうち、**全てがアジアのベンチャー企業となっています。**

このように、アジア企業は莫大な投資マネーの流入によって今後も利益成長が期待されます。

(出所) PwC, CBインサイツ, Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

* 為替レートは2017年8月末現在(1米ドル=110.15円で換算)。

“かゆいところに手が届く”ビジネスと今後の経済成長に期待！

アジアでは、配車アプリの利用が増えている国々があります。車文化の発達していない国でも利用者が増えており、最近では**「人を目的地まで運ぶ」だけの目的ではない多様なサービス**が人々を魅了しているようです。

例えば、配車アプリを手掛けるインドネシアの企業であるゴジェックは、「オジェック」という現地の二輪車タクシーをコールセンターで予約できる配車のサービスだけでなく、**出前、マッサージ師、美容アシスタントなどの派遣を頼めるサービスを追加**し、事業領域を生活の隅々まで広げています。

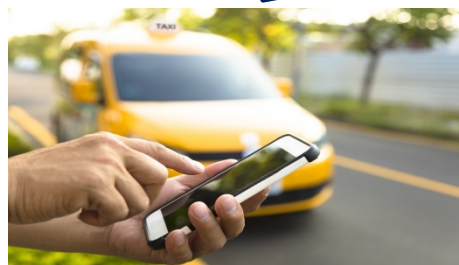
このようなきめ細やかなビジネスで人々を取り込んでいる企業をけん引役に、今後さらなるアジアの経済成長に期待できるのではないのでしょうか。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

(出所) 各種報道資料等を基に三井住友アセットマネジメント作成

配車アプリによって、ドライバーの顔写真やレビュー、予想運賃などを乗車前に確認できるようになりました。

事前にカード登録をしておけば、支払いの手間やチップの要求も避けられる安心感からも人気が高まっています。



■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。